

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4071901179		
法人名	社会福祉法人 大浦福祉会		
事業所名	グループホーム 愛の里 白寿荘 (Aユニット・Bユニット)		
所在地	〒826-0043 福岡県田川市大字奈良1534番地の31 0947-45-2513		
自己評価作成日	平成27年08月17日	評価結果確定日	平成27年09月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・やさしさと思いやりを持って、ご利用者や職員同士接することを大切にしています。 ・ご利用者が快適に安全に過ごせるように、環境整備や清掃に取り組んでいます。 ・職員が楽しくやりがいを持って働ける職場環境を目指して、話し合いを多く持ち、各職種・併設施設職員と連携を図っています。 ・敷地内に保育所・デイサービスセンターが併設し、季節を通じ他者との交流の機会があります。 ・敷地内にかまどや足湯があり、癒しの場所となっています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>四季を通して小鳥のさえずりが聞こえる、緑豊かな環境の中に2ユニット(18人)のグループホーム「愛の里 白寿荘」がある。民芸調造りの交流施設やデイサービスセンター、保育園に囲まれ、足湯や電のある庭を通り抜け、玄関を入ると木の温もりのあるリビングルームでは、利用者と職員の笑顔に包まれた会話が聞こえ、利用者一人ひとりが自由で、あるがままの一日が始まっている。施設長の介護に対する熱い思いを職員全員が理解し、真心も持ってきめ細かい所に手が届く介護を目指し、チームで取り組み、利用者の心を開き、何でも話せる関係をつくり、家族からは、安心と信頼に包まれ高い評価に繋がっている。併設施設からいつでも駆けつけてくれる看護師の応援で、24時間安心して任せられる、医療連携が整い、利用者の健康管理は万全である。また、新鮮な旬の食材を使った料理を、調理上手な職員が調理し、利用者と職員が同じテーブルで談笑する様子は楽しそうで、利用者の健康の源になっている「グループホーム愛の里 白寿荘」である。</p>
--

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5-27 093-582-0294		
訪問調査日	平成27年09月03日		

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
61	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	68	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
64	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念に基づき、日頃から話し合いを多く持つことを努力しています。	ホームが目指す介護サービスのあり方を明示した理念を掲げ、職員会議や、朝の申し送り時に理念について話し合い、職員一人ひとりが理念の意義を理解し、常に意識して介護サービスの提供に取り組んでいる。また、地域密着型事業所として、匠の里じゅんべえを地域交流の拠点としている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	併設のデイサービスや保育所を通じた関わりの機会を多く持ったり、近隣の散髪屋や店舗等に協力を得て交流を図っています。	複合型福祉施設の利点を生かし、「匠の里じゅんべえ」で行う合同の行事には、家族や、地域の方、ボランティアが参加し、交流の輪が広がり、地域の行事として定着している。また、近隣の障害者施設との交流を図り、働く場所を提供したり、地域の商店との関係も続いている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	併設施設のご利用者の支援の協力を行っています。今まで経験した対応等、機会があればお伝えしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での話し合いで頂いた意見や情報は職員全員で共有し、サービスの向上に活かしています。	運営推進会議は、2ヶ月毎に開催し、ホームの運営状況や、行事、課題等を説明し、参加委員からは、外部の目を通した意見や質問、情報が提供されている。参加者は少ないが、外部の方の日常的な来訪の中で、意見交換が行われ、それらの案件をホーム運営や、業務改善に反映させている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	田川市ご担当者には、取り組みの内容や現状を報告して意見等を頂いています。サービスや運営において困った際は気軽に相談させて頂いています。	行政担当窓口にて、困難事例や疑問点を相談し、アドバイスや情報を提供して貰い連携を図っている。運営推進会議に、地域包括支援センター職員が出席し、ホームの現状や取り組みを理解し、介護保険制度や、グループホームの今後について情報交換し、協力関係を築いている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての内部研修を毎年行い、身体拘束をしない介護を実践しています。やむおえず安全の為に必要がある場合の対策も準備していますが事例はありません。	身体拘束廃止マニュアルを整備し、研修会を開き、具体的な禁止行為について職員間で話し合い、言葉や薬の抑制も含めた身体拘束をしない介護の実践に取り組んでいる。また、玄関は日中は鍵をかけずに開放し、利用者が、職員の見守りの中で、自由に出入りしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃より、高齢者虐待とはどんなことかを管理者・職員ともに話し合い理解を深めています。事業所内で虐待が見過ごされることが無いように注意をはらい防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	6	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・日常生活自立支援事業や成年後見制度についての内部研修等を行い、必要性がある場合関連行政に相談し対応出来るようにと考えています。	権利擁護に関する資料を整備し、入居時に利用者や家族に説明し、理解を得ている。毎年研修会の中で職員に説明し、制度の重要性を理解してもらい、利用者が重度化しても、その方の権利や財産が、不利益を被らないような支援体制が整っている。現在、制度活用の利用者はいない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約、解約、改正の際は、説明の上、記名・捺印を頂いています。 ご利用者・ご家族が不安や疑問話しやすい関係づくりに努めています。		
10	7	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ご家族が訪問された際は、現状報告を行い、要望や意見を聞き取りを行い運営に反映されるよう取り組んでいます。	職員は、利用者と日常会話の中から思いや意向を聴き取り、家族面会や行事参加の時に職員と話し合い、利用者の希望や健康状態、暮らし振りについて報告し、家族から、意見や要望、心配事等を聴き取り、ホームの運営や、利用者の介護計画に反映させている。	
11	8	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・日頃より職員からの意見や提案を聞き取る機会を設け、早急な対策・改善に取り組んでいます。会議の場だけでなくその都度、意見が聞けるようにしています。	日常的に職員の意見や、要望、アイデア等の提案を聴く機会を設けて、カンファレンスも含めた内容になっている。また、職員の気付きや心配事が、何時でも話せる環境を整え、現場を熟知している職員の意見や心配事が、速やかに解決できる体制を整えている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・どのように働きたいか、個々の意見を尊重し、勤務状況を把握しそれぞれの特徴や特技を活かして働けるよう工夫しています 仕事と家庭の両立が図れるよう応援しています。		
13	9	人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	・幅広い年齢層の方がそれぞれの特徴を活かして活躍しています。また、障害のある方も働いており個々の出来ること、協力し合うことを大切にしています。職員採用にあたっては年齢や男女別で排除せず現在の職員と協力出来る方を選出しています。	職員の募集は、年齢や性別、資格等の制限はなく、人柄や、介護に対する考えを重視している。施設長は、職員の特技や不得手を把握し、役割分担を決め、職員一人ひとりが生き生きと働きやすい職場環境を目指している。また、休憩時間や、勤務体制、希望休にも柔軟に配慮した就労環境を整えている。	
14	10	人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	・日頃より入居者に対する人権を尊重するために、話し合いの機会を設けています。また、職員がどのように考えているか難しい言葉では無く気持ちを込めて話し合うようにしています。	利用者の人権を尊重する介護のあり方を、研修会の中で学び、利用者一人ひとりの、生活環境や習慣に合わせた介護の実践に取り組み、利用者が安心して暮らせるホームを目指している。また、職員は、理念を常に意識し、人権教育、啓発活動に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・内部研修では、一人ひとりの実際の力量を十分把握し、行っています。資格取得を希望をしている職員には積極的に外部研修が受講出来るよう、シフトを柔軟に行っています。		
16		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・併設施設の介護職員や協力し合っている施設の職員さんと話す機会もあり広い視野で、現場を見てサービスの質の向上を心掛けています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・困っていること、不安なこと、要望等は常に変化することを念頭に置きながら心を許せる関係づくりに努力しています。思い込みが無いよう慎重に聞き取りを行うように心掛けています。		
18		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ご家族の不安や困っていることは一度では聞き取れないと思っています。その都度声掛けを行い要望等を言いやすい信頼関係が気付けるよう配慮しています。		
19		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・サービスを導入する際、要望や状況を細かく聞き取り他のサービスや在宅で利用出来るサービス等も説明するように心掛けています。		
20		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・会話をもち、ご利用者さんの目線になって、生活していけるように心掛けています。一方的な介護にならないために管理者、職員と情報を共有するようにしています。		
21		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・本人さんの状況を電話や訪問の際、お伝えしています。ご家族の不安や要望を伝えやすい関係が築けるよう配慮しています。「何かお気付きのことや、不安はないですか」と声を掛けるように心掛けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	11	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・併設のデイサービスセンターを利用されている馴染みの方と催しを通じ、触れ合える機会を作ったりご家族や親族の方が気軽に立ち寄りやすい雰囲気作りを努めています。	利用者の友人、知人、親戚等の面会時には、ゆっくり話が出来場所や、お茶等を提供し、何時でも面会出来るように支援している。また、併設デイサービスの利用者や、行事や日常的な交流の中で、馴染みの関係が生まれ、利用者同志の新しい交流が始まっている。昔からのいづれの理・美容院にも出掛け、帰りには好物の饅頭を買って帰っている。	
23		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・お一人おひとりの性格や心身の状態を配慮し、関わりやすい雰囲気作りが出来るようにしています。居室に閉じこもる事の無いように声掛けを行い、リビングで楽しく過ごせるよう働きかけています。座る位置や居室の場所等状態に応じて、ご家族・職員も含めて話し合い工夫しています。		
24		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・契約終了後も、入院先に訪問し本人さんの様子やご家族の方の相談・支援に努めています。長い介護生活にご家族の負担が大きくなるよう広い範囲の情報提供が出来よう努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	12	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・「困ったことはないですか」「何かやりたいことはないですか」「食べたい物はないですか」等、問いかけ本人さんの思いが出来るだけ叶うように心掛けています。会話を思いが伝えられない方にも問いかけるようにし希望や意向が読み取れるよう努めています。	職員は、利用者のアセスメントから話題を提供し、話が弾む中で、利用者の思いや意向を聞き取り、実現に向けて取り組んでいる。意思の疎通が困難な利用者には、家族に相談しながら職員間で話し合い、職員が利用者寄り添い、話しかけ、利用者の思いを汲み取る努力をしている。	
26		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時にこれまでの様子や生活歴は出来る範囲聞き取るようにしています。生活していて本人さんから新たな発見があった時はご家族にお話して、様々な一面が発見出来るよう心掛けています。		
27		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・何が出来て、何が出来ないかを把握するように努めています。出来ることは見守り、困っていることはさりげなく援助出来るように話し合っています。今出来ることは何かを常に見つけられるよう取り組んでいます。		
28	13	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・本人さんとご家族にご要望やお気持ちを聞き取り、日々の暮らしに反映出来るように努めています。その都度、必要な情報を共有し取り組んでいけるようにしています。	利用者や家族と話し合う機会を定期的に設け、意見や要望、心配事等を聞き取り、担当者会議の中で、職員間で話し合い、利用者本位の介護計画を3ヶ月から6ヶ月毎に作成している。また、定期的に計画の実施状況や目標達成状況を確認し、その結果を踏まえて介護計画の見直しを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日常の事項は介護日誌に記録しています。状態に著しく変化があった際は介護計画を見直し援助方法の変更を話し合っています。		
30		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・併設のデイサービスセンター、居宅支援事業所の協力を柔軟に得て、日頃より支援しています。各専門職の方から気軽にアドバイスを頂ける関係づくりを行っています。		
31		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・併設のデイサービスセンター、居宅支援事業所の協力を柔軟に得て、日頃より支援しています。また、同業施設や他事業所等気軽に相談し合えるよう関係づくりを心掛けています。		
32	14	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・かかりつけ医はご家族と話し合い出来るだけ、ご希望の医療が受けられるよう配慮しています。状態に応じ専門医に診て頂けるよう配慮しています。	利用者の馴染みのかかりつけ医の受診を、家族同行でお願いしているが、都合で職員が同行することもあり、主治医と医療情報を共有し、連携を図っている。また、訪問看護と連携し、職員の細やかな観察力と合わせて、利用者の健康管理は充実している。	
33		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・訪問看護師、併設施設の看護師に日頃より、詳細に心身の状況を把握してもらっています。早急に適切な医療が受けられるよう配慮しています。		
34		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院の際は定期的に訪問し、安心して治療が出来るよう支援しています。各医療関係者とも連絡を取り合い、退院に向けて努力しています。多くの医療関係者の方々とは信頼関係が出来てきています。		
35	15	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・入居時に終末期に向けたお考えや、方針を話し合うようにしています。看取りに関する対応指針のご説明を行い同意を得ています。	ターミナルケアについて、契約の時に利用者や家族に、ホームで出来る支援と、医療機関でしか出来ない支援について説明し、承諾を得ている。利用者の重度化や急変時には、家族と常に連絡を取りながら、今後の方針を、主治医も交えて話し合い、方針を関係者で共有し、利用者が出来るだけホームで暮らせる支援に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・内部研修にて定期的に、応急手当や初期対応の勉強を行っています。事例ごとに、今後の対策や方法を話し合うように心掛けています。		
37	16	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・火災・地震・水災害対応マニュアルを整備し、定期的に避難訓練を行うとともに、さまざまな事例を想定して話し合っています。	法人全体で自主防災組織による、避難訓練を定期的に行い、火元を特定し、通報装置や消火器の使い方を確認し、各事業所の職員が出火元の救援に出向き、連携して利用者が安全に避難誘導できる体制を整えている。また、火を出さないための防火意識を高め、毎日の点検を行い、安全対策に取り組んでいる。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	17	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・人生の大先輩であることを肝に銘じ、プライバシーを損ねない思いやりのある言葉かけ、対応には特に気を付けて行っています。	利用者の、尊厳と権利を守る介護の在り方を研修会の中で学び、職員は、利用者のプライドや羞恥心に配慮した介護の実践に取り組んでいる。特に言葉遣いには注意し、親しい中にも礼節のある対応に取り組んでいる。また、利用者の個人記録の保管や、職員の守秘義務について、周知徹底が図られている。	
39		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・自分で意思を十分に伝えきれない方には、文字や写真を使ったりして気持ちを伝えられるよう支援しています。決めつけないで「どちらにしますか」「どうしますか」という自己決定出来るような言葉掛けをするように心掛けています。		
40		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・居場所ややりたい事等、出来るだけ、お一人おひとりのペースを優先し、生活出来るよう柔軟に支援しています。		
41		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・お一人おひとりの好みや、やりたいおしゃれが実現出来るように支援しています。定期的に散髪計画を作り、気分転換も兼ねて、美容院に出掛けています。		
42	18	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・何が食べたいか聞き取り、可能な限り実現しています。リビングのテーブルを拭いたり、お箸を並べる等、一緒に行っています。	利用者の嗜好を聞き取り、調理上手な職員がメニューに取り入れ、畑で採れた旬の野菜を使った美味しい料理を、楽しい会話の中で食べる利用者の顔は、明るくて楽しそうである。毎月「匠の里じゅんべえ」の大きな竈でご飯を炊いて、昼食会を開き、利用者のほとんどが完食し、健康の源になっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事量や形態は状態に応じて柔軟に対応しています。食事、水分の摂取量は確認、記録を行い変化があれば、連絡し合い適切な対応が出来るようにしています。お茶はいつでも自由に飲めるよう準備しています。		
44		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・お一人おひとり、状態に応じた口腔ケアを行い清潔が維持出来るよう努めています。		
45	19	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・排泄パターン、状況を把握し習慣を活かして支援しています。出来るだけトイレで排泄することが出来るように支援しています。	トイレで排泄することを基本とし、職員は、利用者の生活習慣や排泄パターンを把握し、利用者の仕草や表情を観察しながら、早めの声掛けや、さりげないトイレ誘導を行い、失敗の少ないトイレでの、自立に向けた排泄の支援に取り組んでいる。また、排泄の支援やオムツや、パットの使用方法を職員間で統一し、オムツ使用の軽減に取り組んでいる。	
46		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・便秘は薬だけに頼らず、運動・食事・水分摂取等で改善出来るよう心掛けています。排便を把握し、医師とも相談しながら便秘にならないよう工夫しています。		
47	20	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	・基本の日程は決めています。個々の体調や生活リズムに合わせて柔軟に変更しています。	入浴はある程度日時を決めてはいるが、利用者の希望や、その日の体調を見ながら、柔軟に時間を変更したり、清拭や足浴に変更する事もある。また、入浴は、利用者と職員がゆっくり話し合える大切な時間と捉え、信頼関係を築けるように工夫している。入浴を拒む利用者には、無理強いせず利用者の気持ちを優先している。	
48		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・一日を通じ、心身の状態に合わせて、休息したり安心して睡眠出来るように支援しています。不眠にならないよう適度な活動に心掛けています。		
49		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・内服薬は厳重に管理しています。内服の際、お名前・日付等、声に出して確認を行っています。薬が変更になった場合は申し送りを行い身体の状態と変更内容を適切に確認し情報を共有出来るようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・お一人おひとりが得意なこと、楽しみにしていること、笑顔になる瞬間を日頃より把握し、気分転換が出来るよう支援しています。		
51	2.1	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行かないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・本人さんの意向があればご家族にもお伝えして実現出来るよう支援しています。近所であれば通院の帰り道や買い物の帰りにドライブしたりして希望を叶えています。	敷地内が広く、散歩や畑の手入れをしたり、保育園児の元気な様子を眺めたり、足湯を楽しんで穏やかな時間を過ごしている。病院受診の帰りにドライブしたり、買い物や花見に出かけ、利用者の気分転換に繋がる外出の支援に取り組んでいる。また、交流施設の足湯に入ることが、利用者の楽しみの一つである	
52		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お預かり金で管理しています。お一人おひとりの状態に応じ、ご家族へ電話出来るよう小銭を持っている方もいます。買い物に出かけた際は自分で支払い出来るよう支援しています。		
53		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話の希望があれば公衆電話より、自由に掛けられるようにしています。また、ご家族からの電話があった際ゆっくりお話しが出来るように配慮しています。		
54	2.2	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご利用者にとって居心地良く過ごせるよう、配慮しています。場所がわからない時は張り紙をしたり、絵を書いたり工夫しています。明るさや温度は常に見回り、適切な状態が保てるよう心掛けています。	中庭では園児たちが元気に遊びまわる姿を、廊下のソファーに座って眺めたり、一緒に野菜や果物を収穫して楽しみ、どこに座っていても子供の声が聞こえ、楽しい共用空間である。建物内は、全館バリアフリーを設置し、木の温もりと音や照明、温度や湿度、換気に注意し、明るくて清潔なグループホームである。	
55		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファーを置いたり、いろいろな場所で気の合った方と過ごせるようにしています。また、ひとりでゆっくり出来る時間と他者との交流を楽しむ時間のバランスに気を付けて支援しています。		
56	2.3	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室は本人さん・ご家族と相談して状態や要望に応じ、快適な空間となるよう努めています。	室内は利用者の日常の暮らしが分かるように写真や、作品を掲示し、馴染みの家具や鏡台、生活用品を持ち込んで、利用者の部屋として、居心地よく過ごせる環境である。また、室内は清掃が行き届き、清潔で明るい居室である。	
57		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・「できること」「わかること」が把握出来る対応を心掛けています。出来ることが損なわれることのないように自立出来る場面が増えるよう支援しています。		